

平成26年度 医療事故等の包括公表について

徳島県病院局では、病院運営と医療の透明性を高め、県民の医療に対する信頼の確保と医療現場の安全管理に資することを目的として、「徳島県立病院医療事故等公表基準」を定め、県立病院で発生した医療事故等について「徳島県立病院医療安全対策委員会」に諮り、年1回、公表することとしております。

平成26年度の医療事故等について、「公表基準」の規定に基づき、次のとおり公表いたします。

これらの報告された事例は、医療安全対策を進める上での貴重なデータとなります。医療事故等の原因分析や再発防止策の検討を行い、「徳島県立病院医療安全対策委員会」の評価・提言をいただき、今後の医療事故防止への取組につなげていくこととしています。

1. インシデント・アクシデント件数

①報告件数

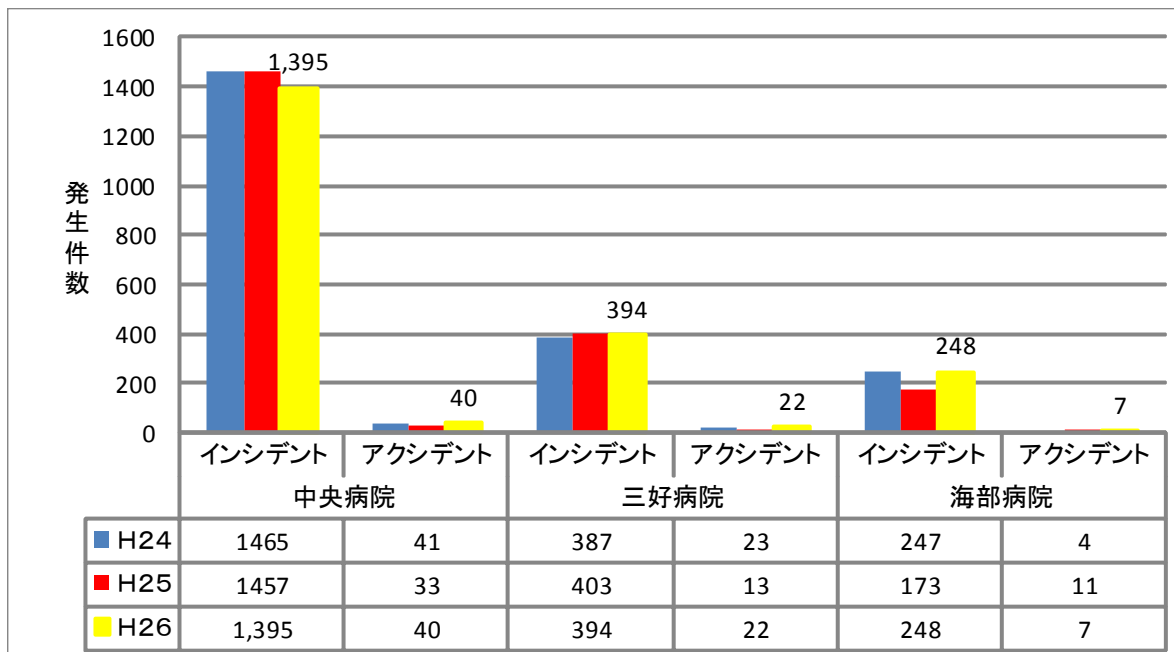
- ・インシデント・アクシデント報告件数は、県立3病院で2,106件であり、平成25年度に比べて16件の増加となった。
- ・インシデント件数は2,037件で、前年度より4件増加、アクシデント件数は、69件で前年度より12件増加した。
- ・報告件数に占めるインシデントの割合は97.7%、アクシデントの割合は2.3%である。

報告件数の推移

(単位:件)

年度	総件数	前年度増減	内 訳			
			インシデント	前年度増減	アクシデント	前年度増減
24	2,167	△ 3	2,099	△ 18	68	15
25	2,090	△ 77	2,033	△ 66	57	△ 11
26	2,106	16	2,037	4	69	12

病院別インシデント・アクシデント件数 (平成24年度～26年度)



※インシデント（ヒヤリ・ハット事例）とは、

患者に被害を及ぼすことはなかったが、日常診療の現場で“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験を有する事例。

※アクシデント（医療事故）とは、

医療に関わる現場で医療の全過程において発生するすべての人身事故で、以下の場合に該当するもの。

- ①死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合。
- ②医療従事者の過誤、過失の有無を問わず、また不可抗力的な事故も含む。

②従事者別報告件数の状況

・従事者別報告件数では、看護師が84.3%でその大半を占め、医師が5.3%、その他の職種が10.4%である。

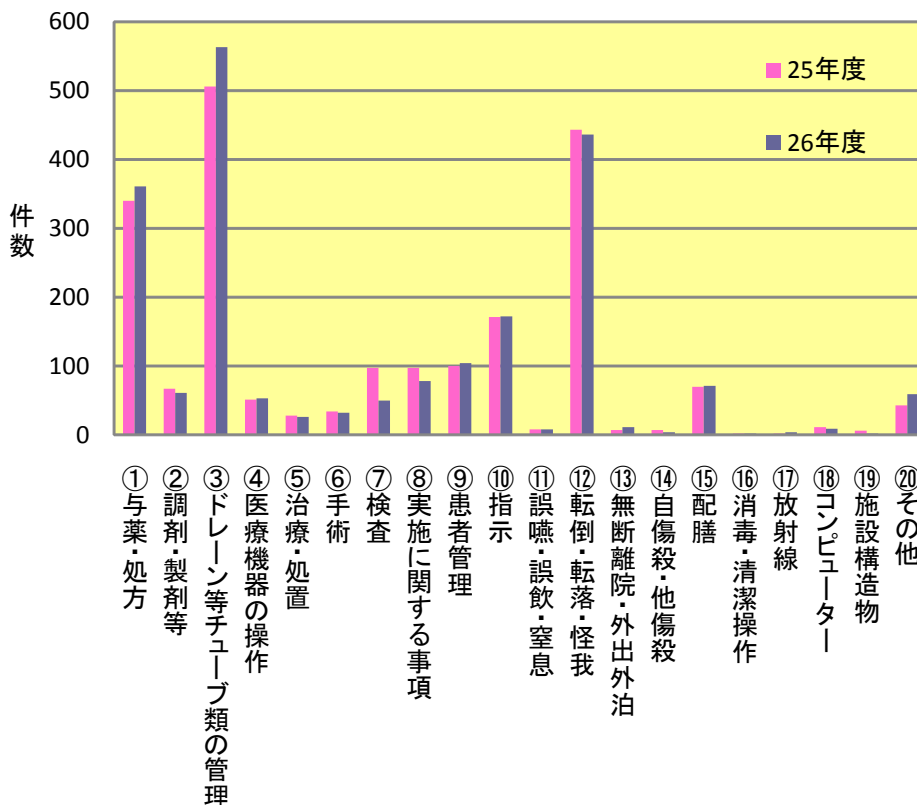
従事者別件数	平成26年度				平成25年度				平成26年度と平成25年度合計件数の差(件)
			合計件数 (件)	構成比 (%)			合計件数 (件)	構成比 (%)	
	インシデント	アクシデント			インシデント	アクシデント			
医師	93	18	111	5.3%	116	19	135	6.5%	△ 24
看護師	1727	49	1776	84.3%	1671	38	1709	81.8%	67
薬剤師	82	0	82	3.9%	87	0	87	4.2%	△ 5
検査技師	21	0	21	1.0%	41	0	41	2.0%	△ 20
放射線技師	32	0	32	1.5%	21	0	21	1.0%	11
管理栄養士・調理師	58	0	58	2.8%	65	0	65	3.1%	△ 7
理学療法士	2	0	2	0.1%	5	0	5	0.2%	△ 3
事務	18	0	18	0.9%	15	0	15	0.7%	3
その他	4	2	6	0.3%	12	0	12	0.6%	△ 6
合計	2037	69	2106	100.0%	2033	57	2090	100.0%	16

③行為別報告件数の状況

・行為別報告件数では、前年度と同様、「ドレーン等チューブ類の管理」と「転倒・転落・怪我」の占める割合が多く、ついで「与薬・処方」の順となっている。
 ・「ドレーン等チューブ類の管理」の報告件数は563件で、うちインシデントが560件、アクシデントが3件である。

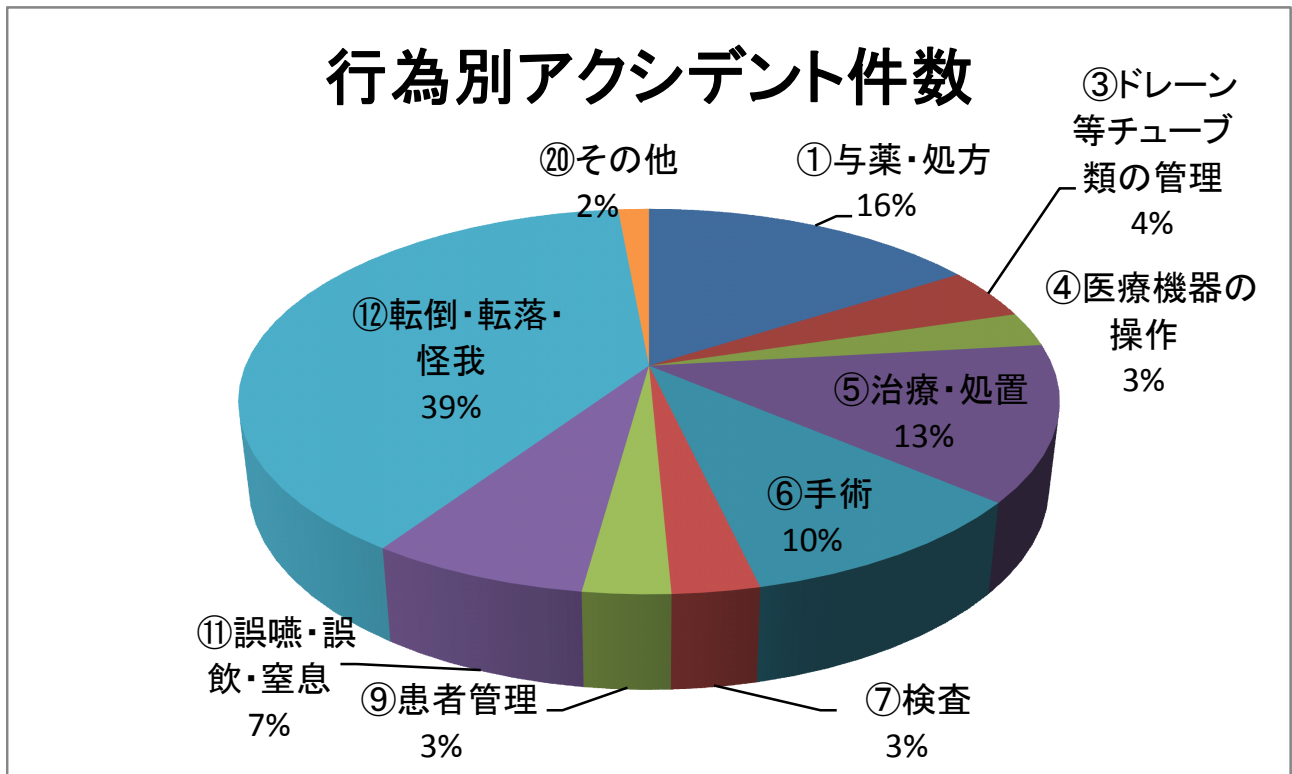
・「転倒・転落・怪我」の報告件数は436件で、うちインシデントが409件、アクシデントが27件である。前年度と比較すると、報告件数は7件減少しているが、アクシデント件数の構成比では39%と最も多くを占めている。

行為別インシデント・アクシデント件数



行為別件数	平成26年度				平成25年度				平成26年度 と平成25年 度合計件数 の差(件)
			合計件数 (件)	構成比 (%)			合計件数 (件)	構成比 (%)	
	インシデント	アクシデント			インシデント	アクシデント			
①与薬・処方	350	11	361	17.1%	336	4	340	16.3%	21
②調剤・製剤等	61	0	61	2.9%	67	0	67	3.2%	△ 6
③ドレーン等チューブ類の管理	560	3	563	26.7%	504	2	506	24.2%	57
④医療機器の操作	51	2	53	2.5%	51	0	51	2.4%	2
⑤治療・処置	17	9	26	1.2%	17	11	28	1.3%	△ 2
⑥手術	25	7	32	1.5%	25	9	34	1.6%	△ 2
⑦検査	48	2	50	2.4%	97	0	97	4.6%	△ 47
⑧実施に関する事項	78	0	78	3.7%	97	0	97	4.6%	△ 19
⑨患者管理	102	2	104	4.9%	100	0	100	4.8%	4
⑩指示	172	0	172	8.2%	169	2	171	8.2%	1
⑪誤嚥・誤飲・窒息	3	5	8	0.4%	7	1	8	0.4%	0
⑫転倒・転落・怪我	409	27	436	20.7%	417	26	443	21.2%	△ 7
⑬無断離院・外出外泊	11	0	11	0.5%	7	0	7	0.3%	4
⑭自傷殺・他傷殺	4	0	4	0.2%	6	1	7	0.3%	△ 3
⑮配膳	71	0	71	3.4%	70	0	70	3.3%	1
⑯消毒・清潔操作	2	0	2	0.1%	2	0	2	0.1%	0
⑰放射線	4	0	4	0.2%	2	0	2	0.1%	2
⑱コンピューター	9	0	9	0.4%	11	0	11	0.5%	△ 2
⑲施設構造物	2	0	2	0.1%	6	0	6	0.3%	△ 4
⑳その他	58	1	59	2.8%	42	1	43	2.1%	16
合計	2,037	69	2,106	100.0%	2,033	57	2,090	100.0%	16

平成 2 6 年度



◇資料◇

平成26年度インシデント・アクシデント一覧表

(単位:件)

区分	中央病院		三好病院		海部病院		合計		合計	構成比
	インシデント	アクシデント	インシデント	アクシデント	インシデント	アクシデント	インシデント	アクシデント		
従事者別										
医師	88	12	3	5	2	1	93	18	111	5.3%
看護師	1,143	28	350	16	234	5	1,727	49	1,776	84.3%
薬剤師	67	0	9	0	6	0	82	0	82	3.9%
検査技師	17	0	3	0	1	0	21	0	21	1.0%
放射線技師	25	0	3	0	4	0	32	0	32	1.5%
管理栄養士・調理師	36	0	22	0	0	0	58	0	58	2.8%
理学療法士	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0.1%
事務	14	0	3	0	1	0	18	0	18	0.9%
その他	3	0	1	1	0	1	4	2	6	0.3%
合計	1,395	40	394	22	248	7	2,037	69	2,106	100.0%
行為別										
①与薬・処方	275	6	41	4	34	1	350	11	361	17.1%
②調剤・製剤等	46	0	8	0	7	0	61	0	61	2.9%
③ドレーン等チューブ類の管理	407	2	82	1	71	0	560	3	563	26.7%
④医療機器の操作	36	0	7	2	8	0	51	2	53	2.5%
⑤治療・処置	11	8	4	1	2	0	17	9	26	1.2%
⑥手術	20	4	1	2	4	1	25	7	32	1.5%
⑦検査	40	2	4	0	4	0	48	2	50	2.4%
⑧実施に関する事項	48	0	17	0	13	0	78	0	78	3.7%
⑨患者管理	82	1	15	1	5	0	102	2	104	4.9%
⑩指示	121	0	48	0	3	0	172	0	172	8.2%
⑪誤嚥・誤飲・窒息	2	4	0	1	1	0	3	5	8	0.4%
⑫転倒・転落・怪我	224	13	117	10	68	4	409	27	436	20.7%
⑬無断離院・外出外泊	6	0	3	0	2	0	11	0	11	0.5%
⑭自傷殺・他傷殺	1	0	2	0	1	0	4	0	4	0.2%
⑮配膳	46	0	24	0	1	0	71	0	71	3.4%
⑯消毒・清潔操作	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0.1%
⑰放射線	2	0	2	0	0	0	4	0	4	0.2%
⑱コンピューター	8	0	1	0	0	0	9	0	9	0.4%
⑲施設構造物	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0.1%
⑳その他	16	0	18	0	24	1	58	1	59	2.8%
合計	1,395	40	394	22	248	7	2,037	69	2,106	100.0%

注) 端数処理の関係で各構成比の合計が100%にならない場合がある。